

ボリビア日本人移住 120 周年記念行事 「SDGs 未来都市・環境絵日記展 2019(※1)」への ボリビアの日系移住地の小学校からの参加について

横浜市資源リサイクル事業協同組合が毎年主催している「環境絵日記展」について、2019 年はボリビアの日系児童も参加します。



ボリビアでは、今年が日本人が移住して 120 周年にあたり、両国の交流促進を目的とした式典や各種イベントが開催されてきました。この「環境絵日記展」への参加についても、120 周年記念事業の一環として位置づけ、日系人及び日系移住地の「環境意識」を育むことを目的としています。

今回、ボリビアから参加する小学校は、**サンタクルス県の日系サンファン移住地にあるサンファン学園(※2)の小学4～6年生の計20名**です。

その指導にあたったのが、JICA ボランティアとしてサンファン学園で活動している渡邊萌捺さん(日本語教育、横浜市出身)。

「環境絵日記」を作成するにあたり、サンファン学園の先生たちと協働して、事前に各クラスでごみ問題について考え、実際にごみの分別について取り組みました。渡邊さんによると、プラスチックのコップの使用が減るなどの具体的な効果が出てきています。また、先生たちは環境絵日記を来年以降も続けたいというモチベーションも上がっているとのことでした。

なお、12月8日(日)の「SDGs 未来都市・環境絵日記展 2019」当日には、ボリビアの JICA ボランティア経験者等がボリビアについての広報も行う予定です。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 横浜 市民参加協力課 中野

TEL: 045-663-3220

E-mail : Nakano.Takayuki.2@jica.go.jp

※1 「SDGs 未来都市・環境絵日記展 2019」

横浜市と横浜市資源リサイクル事業協同組合が連携し実施している「環境絵日記」事業が、今年20年目を迎え「SDGs 未来都市・環境絵日記展2019」として開催されます。展示会では、15,314作品から選ばれた優秀作品約600作品を一堂に展示するとともに、優秀特別賞の表彰式や環境絵日記20周年記念事業等を行います。

開催日時：2019年12月8日（日）11:00～16:00

場所：横浜港 大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール

アクセス：みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口徒歩7分

主催：横浜市資源リサイクル事業協同組合

共催：横浜市

※2 サンファン学園は、1955年、ボリビアの日系人移住地に開校したのが始まり。1995年にはボリビア教育省から認可された学校となりました。合計300名の日系人とボリビア人が机を並べて学校生活を送っています。

午前中はスペイン語でボリビア教育省が定める授業を行い、午後は選択制として日本語の授業を行っているのが特徴です。

サンファン学園は、日本語と日本文化の拠点となり、日本とボリビア両国の文化と伝統を融合・継承する国際人の要請を目指しています。

今年7月の120周年記念式典の際には、眞子内親王殿下がサンファン学園を訪問されました。